

Dr.からのアドバイス
こんなとき
どうしたら...


Q 日常、気をつけることがありますか？

A 動脈の膨らむのを防ぐためには血圧のコントロールが必要です。また、糖尿病、高コレステロールなど動脈硬化を進める病気があればその治療も必要です。太さが4cmを越えている場合は破裂を防ぐため、急激な血圧の変化を避ける必要があります。急激な温度変化、激しい運動も避けます。寒い冬の朝、暖かい布団からでてトイレで方んだ時など気をつける必要があります。また、膨らんだ動脈の内部では血液の流れがよどんで血栓が壁の内側についている場合が多いです。強く押さえたり、ぶったりすると血栓が剥がれて、足の血管に詰まり、足の色が変わることがあるので気をつけましょう。

動脈瘤は通常、何年もかかって膨らむ病気で、破裂するまでは慢性疾患です。破裂の危険が少ない時期には、定期的な通院で経過を見て、急激な変化を見逃さないことが必要です。

定期的な通院で、
急激な変化を見逃さない

Q どのような治療をするのですか？

A 太くなった動脈を人工血管という化学繊維でできた筒と取り替えます。おなかを切って手術をしますが、最近は傷の大きさを小さくする工夫もなされており、入院期間も2週間ぐらいです。破裂する前の手術であれば、専門医が行えば、危険性は1%以下と安全な手術となっています。手術の困難な方には、足の血管から管を入れて、腫れた大動脈内に針金の筒状のパネのついた人工血管を内側から埋め込んで治療をする方法もあります。



腰痛で整形外科にかかったとき、MRI検査を受けたのですが、おなかの動脈が腫れているといわれました。特に症状がないですが治療が必要でしょうか？

Q どの病院にかかったらよいですか？

A 心臓血管外科専門医がいる病院が良いです。おなかの動脈は正常2cmくらいの太さで、経年変化で誰でも少しずつ太くなるものです。CTなどで、形状、太さを計った上で、破裂の危険が多いと判断された段階で手術を行います。均一な膨らみ方であれば通常5cm近くの太さになったら手術します。動脈硬化性病変であり、心臓や足の血管が細くなるといった病気を合併している場合も多く、専門的なアドバイスのできる病院を受診する必要があります。

Q とくに症状はないですが、病院にかかる必要がありますか？

A 腹部大動脈瘤が疑われます。動脈瘤は動脈の壁が弱くなり、血圧で動脈の壁が伸びて膨らむ病気です。特におなかの動脈はできやすい場所です。おなかの空間は余裕があるので、大きくなってもほとんど症状がでません。痩せた方なら仰向けに寝ておなかの力を抜いて、へそのあたりを平手で押さえてみるとドクン、ドクンとふれます。強い腰の痛みや、腹痛は動脈瘤が破れた時に出現しますが、それからは手遅れになる場合があります。治療が必要な状態か検査を受ける必要があります。

今月のドクター



岐阜市民病院
胸部・心臓血管外科 部長
村川 眞司氏
(むらかわ しんじ)

昭和57年岐阜大学医学部卒業
平成4年～6年ドイツ・ギーゼン大学心臓血管外科にて臨床研修後、岐阜大学医学部講師を経て現職。外科学会指導医、心臓血管外科専門医。心臓冠動脈バイパス手術、大動脈瘤手術、胸腔鏡補助下肺癌手術など、胸部の大手術を幅広くこなす専門医。

生活習慣病の増加とともに、
動脈硬化疾患が増えています。
あなたの血管は大丈夫？

